

サンプル解答例

商業情報課題

I 問1 (1) ア (2) イ (3) ウ

問2 ウ

問3 ウ

問4 エ

II 問1 ア

問2 イ

問3 (1) オ (2) エ (3) ウ (4) イ

問4 (1) オ (2) ウ (3) イ (4) エ

III 問1 1. × 2. × 3. ○ 4. ○ 5. ×

(解説)

1. 構成比率法ではなく、関係比率法の説明である。
2. 関係比率法ではなく、趨勢法の説明である。
5. 趨勢法ではなく、関係比率法による財務諸表分析の一種である。

問2	1. (借方) 創立費	500,000	(貸方) 当座預金	500,000
	2. (借方) 未払法人税等	600,000	(貸方) 当座預金	600,000
	3. (借方) 繰越利益剰余金	9,800,000	(貸方) 未払配当金	8,000,000
			利益準備金	800,000
			別途積立金	1,000,000

問3 (1)

損益計算書

名古屋商店	令和○年1月1日から令和○年12月31日まで		(単位：円)
費用	金額	収益	金額
売上原価	① (14,948,900)	売上高	18,973,000
給料	1,780,000	受取地代	② (144,000)
貸倒引当金(③繰入)	④ (65,400)	有価証券売却益	7,000
減価償却費	⑤ (375,000)	有価証券評価益	⑥ (120,000)
支払家賃	420,000		
保険料	⑦ (88,000)		
通信費	52,000		
雑費	49,700		
支払利息	⑧ (114,000)		
当期純(⑨利益)	⑩ (1,351,000)		
	19,244,000		19,244,000

(2) ¥28,000

- IV 問1**
1. テキストボックス
 2. ラジオボタン
 3. チェックボックス
 4. リストボックス
 5. コンボボックス

- 問2
1. 10100
 2. 10
 3. 100001
 4. 24

(解説)

1. 10進数の7は2進数に変換すると111となる。これに2進数の1101を加算すると、その和は2進数の10100になる。
2. 10進数の5は2進数に変換すると101となる。2進数の1111からこの2進数の101を減算すると、その差は2進数の1010となる。これを10進数に変換するため、この1010の各ケタの値と2進数の重みを乗算し、各ケタにおけるそれらの乗算の結果の値の和を求めると、 $8 \times 1 + 4 \times 0 + 2 \times 1 + 1 \times 0 = 8 + 0 + 2 + 0 = 10$ となることから、10進数の10となる。
3. 10進数の3は2進数に変換すると11となる。2進数の1011に、この2進数の11を掛け算し、その積を求めると、2進数の100001となる。
4. 2進数の1101と1011の和は11000となる。この2進数の11000を10進数に変換するため、この11000の各ケタの値と2進数の重みを乗算し、各ケタにおけるそれらの乗算の結果の値の和を求めると、 $16 \times 1 + 8 \times 1 + 4 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0 = 16 + 8 + 0 + 0 + 0 = 24$ となることから、10進数の24となる。

問3 エ